

手をつなぐ浜松

HAND IN HAND

Vol.92 2024. 3. 8



発行：浜松市浜松手をつなぐ育成会

〒435-0054

浜松市中央区早出町815番地の3

浜松市浜松手をつなぐ育成会事務局

TEL(FAX) 053-544-9010

E-mail:

jimukyoku@hamamatsu-ikuseikai.net

新年会報告

去る1月12日(金)、コロナ禍を経て4年振りに浜松育成会理事会・新年会が中央区呉竹荘にて開催されました。まず理事会を開催し、その後29名の参加による新年会へと移りました。小出会長の挨拶の後、浜松育成会顧問の永井 昭様(社会福祉法人 復泉会 相談役)に乾杯のご発声をいただき、歓談がスタートしました。



どのテーブルも会話が弾んでいる様子が伺え、美味しいお料理をいただきながら親睦を深め、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

若い役員の方が「今日は先輩方から貴重ないい話がたくさん聞けて本当に良かったです」と普段中々話す機会のない中、先輩や先生が気さくに色々話して下さったのがとても嬉しかったとの感想もありました。

今年の元旦には石川県の能登半島地震があり、甚大な被害が出ており、被災地の障害のある仲間とそこご家族のことを思うと大変心苦しく心配でなりません、できる限りの支援を行うとともに、今後の私たちが地域で安心して暮らせるよう、みんなで協力し合って育成会活動を継続していけたらと思います。

新年会の終わりには根洗学園 園長の松本 知子様に締めのお話をいただき、水崎副会長の1本締めにより閉会しました。2024年が皆様にとって良い年でありますように！

(報告者 鈴木さゆり)

| | |
|---|----------|
| ◇「新年の集い」報告 成人部会 | |
| ◇「就労カフェ」報告 就労支援委員会 |2・3 |
| ◇「県知的障害者相談員等研修会」報告 | |
| ◇令和6年能登半島地震にかかる義援金の呼びかけについて | |
| ◇保護者の学び舎 歯の健康「生涯を通じておいしく食べる」 ～むし歯予防を考える 仕上げみがき5つのポイントと歯みがき剤の有効活用～ |4 |
| ◇アートに親しむ楽しみを身近に ～浜松育成会の美術活動～ |5 |
| ◇部会・委員会 活動報告 |6・7 |
| ●幼児部会 ●小学校部会 ●中学校部会 ●特別支援学校部会 ●成人部会 ◆啓発委員会 ◆児童委員会 ◆地域生活支援委員会 ◆イベント委員会 ◆発達支援委員会 | |
| ★会費納入のお願い ○お知らせ掲示板 |8 |
| ■情報・交流誌「手をつなぐ」購読 ■生活サポート協会からのお知らせ | |

「新年の集い」報告 成人部会

日時：令和6年2月11日（日）11：00～14：00

場所：浜松福祉交流センター

参加者：44名

（本人21名・保護者20名・支援者3名）

コロナ禍を経て4年ぶりに「新年の集い」を行いました。

11時からの開会で昼食をとりながらゲーム（じゃんけん・お菓子の数当て）をやりました。

ハッピークワイアの発表では、「風になりたい」「小さな世界」「勇気100%」を披露しました。いつもご指導をいただいている石野裕子先生のミニコンサートでは懐かしい曲を、会員のお父さんが飛び入りでデュエット・コーラスして素敵な歌声を聴かせていただき盛り上がりしました。

美味しいお弁当とケーキをいただきながら和やかな雰囲気の中で交流ができました。

最後に今年度の反省と来年度の計画を話し合いました。本人達が参加したくなるような行事内容を考えていきたいと思えます。

（報告者 小粥久仁子 百瀬江利子）



「静岡県知的障害者相談員等研修会」報告

日時：令和6年1月20日（土）10：00～15：00

場所：静岡県総合福祉会館（シズウエル）



聖隷クリストファー大学国際教育学部、こども教育学科准教授内山敏（うちやまさとし）氏を講師に迎え、午前中は「知的障害者への合理的配慮を考える～8050問題を意識して～」というテーマの講演、午後はグループワークという構成で行われました。

知的障がいとは、IQ69以下に加えて適応行動障害があって障がいと判断されます。障がい特性そのもので困っているというより、障がいゆえに困っていることがどんどん累積していくことで困っているのです。支援に入るときに心掛けることは「本人・家族のどちらの敵にもならない」「薄くても繋がり続ける」「介入は単独ではなく多職種関係者の連携を前提にする」

「正論を言うのではなく工夫・手伝い・環境調整をおこなってから導いていく」「診断名にとらわれるのではなく具体的な特性に対する配慮を行う」などです。

午後は小グループに分かれて、引きこもりの本人と高齢の母親の二人暮らしの事例に基づき、支援方法を話し合いました。最後に内山先生からこの事例の対応とその後の様子のプリントが配られ、説明がありました。困り感もそれぞれで支援の仕方も幅が広く、これが正解というものはありません。本日の研修は先生の豊富な経験に基づいた分析の仕方、課題のとらえ方、支援の方向性の出し方などを詳しく説明いただき、たいへん勉強になりました。ありがとうございました。

（報告者 安藤 幸枝）



「就労カフェ」報告 就労支援委員会

日 時：令和5年12月10日（日）10:00～12:00

場 所：浜松福祉交流センター

参加者：27名（本人11名・保護者6名・支援者10名）



就労支援委員会では、育成会の新たな取組として企業就労しているご本人やご家族の少しでもお役に立てればと思い「第1回 浜松・浜北育成会 就労カフェ」を開催しました。

企画段階では参加者は企業就労者だけでいいのか、20名程度の人数でいいのか、この内容で満足いただけるかなど役員の間でも不安だらけでした。

しかしながら、準備段階から趣旨にご賛同いただき是非参加したいというご意見を聴くことができました。

当日は多数の参加者（本人と家族会員）に来ていただけたうえ、アンケート結果も大変いい評価をいただき満足いく結果につながりました。もちろん課題もあり、必要な内容が見えてきたことで第2回（3月10日（日））就労カフェは、いただいたご意見等を整理しながらプログラム内容を精査し開催いたします。

開催する目的は、あくまで企業就労している仲間同士が語り合ったり、仲間をつくったりするおしゃべりの場を提供することで、その中から聴こえてくる貴重な声が職域拡大、定着支援に向けてのお手伝いにもつながると考えております。会場の都合上、事前申込制とさせていただきますが、是非この機会にご参加いただければと思います。

ご本人の「はたらく・よか・くらす」ための生活の自立、自律につながれば幸いです。また、こういった参加者の中からご協力いただける輪が広がっていくことを期待しています。浜松育成会だけでなく浜北育成会と一緒に継続して活動していきたいと思っております。

第1回のプログラムとしてはアイスブレイク（自己紹介、パラスポーツボッチャ）でリラックスしながら仲間づくりすることや、カフェタイム（好きな飲み物、お菓子を食べながらのフリートーク）で会話を楽しんだり、専門家に困りごとを相談したりしました。有意義な時間になったのではと思います。ご協力いただいた関係者の皆様に感謝申し上げます。

次年度以降も年4回程度（季節ごと）の定例開催に向け、企業就労している会員の皆様のご意見を反映しながら就労支援委員会役員一同積極的に取組んで参ります。趣旨をご理解いただき皆様のご支援ご協力をいただけると幸いです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。（報告者 伊藤 秀猛）

令和6年能登半島地震にかかる義援金の呼びかけについて

全国手をつなぐ育成会連合会から下記のように呼びかけがあり、浜松育成会もこれに賛同し、2月の理事会で10万円の義援金を拠出することを議決しました。皆様からお寄せいただいた義援金と合わせ、被災地の育成会を通じ直接被災された会員に届けられます。

本年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」によりお亡くなりになった方々へ、心からのお悔やみを申し上げます。また、被害を受けられた皆さまには、謹んでお見舞いを申し上げます。育成会関係だけでも、石川県（能登半島）を中心に被害に遭われた方が多数いらっしゃいます。1日も早い日常の回復をお祈り申し上げます。

本会では、この度の地震により非常に大きな被害が発生したことに鑑み、本年1月10日から4月末を目途として、義援金を募集することといたしました。

全国の育成会会員、関係者をはじめとして、趣旨にご賛同いただける皆さまにおかれましては被災地支援のために温かいお気持ちをお寄せくださいますよう、心よりお願い申し上げます。

令和6年（2024年）1月
一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会
会長 佐々木 桃子



保護者の学び舎

第26回

ここでは、浜松市の福祉の現状や、身近な制度などについてお伝えしていきます。

○浜松市歯科医師会コラム②

歯の健康

「生涯を通じておいしく食べる」

～むし歯予防を考える

仕上げみがき5つのポイントと歯みがき剤の有効活用～

乳児期から離乳期にかけてむし歯を作る菌は、主に母親から子どもに移ります。ホームケアとしてむし歯菌を減らして、そのすみかになるプラーク（歯垢）を歯ブラシで取り除くことやむし歯菌の養分になるもの（糖質）を減らすために、間食に含まれる砂糖の量と回数を減らすことは大切です。そのために、歯と口の中を隅々まできれいに磨き、清潔に保ちましょう。



お子様などがうまく歯みがきができない場合の仕上げみがき5つのポイントとして

- ①自分みがき用と仕上げみがき用の歯ブラシを分けるのが理想的（自分磨き用歯ブラシだけでも可）
- ②右上・左上・右下・左下に分けて、1か所だけでも自分で磨かせましょう。全部を磨かせるのではなく、できるところだけやるようにしましょう。
- ③本人が苦手な部分を仕上げみがきしましょう。時間をかけるのではなく、みがき残しが多い部分、汚れがたまりやすい部分を効率的に行いましょう（下の歯の裏側、利き手側等）。
- ④前歯が過敏な場合は、奥歯から始め、嫌がる時は前歯に歯みがき剤をつけるだけにとどめましょう。前歯はむし歯のリスクが奥歯に比べると少なく、特に下の前歯は唾液がたまるので、むし歯になりにくいからです。
- ⑤歯磨きには、可能であれば歯みがき剤を使用しましょう。フッ化物を利用したむし歯予防法として歯みがき剤に含まれるフッ素は有効です。歯みがき剤使用後は、少量の水ですすぎ、その水を吐き出します（2・3回を目安）。

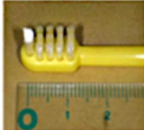

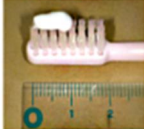
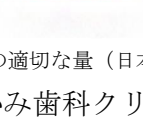
日本小児歯科学会では、年齢別の歯みがき剤の適切な量として歯の生え始めから2歳まではゴマ粒程度、3～5歳ではエンドウ豆（約5ミリ）程度、6～14歳では歯ブラシの半分（約1センチ）程度、15歳以上（約2センチ）程度を推奨しています。（下図参照）

歯ブラシはお子様の年齢に応じた大きさのものを使いましょう。

仕上げみがきは、むし歯予防だけでなく、お子様とのコミュニケーションをとる大切な時間です。

フッ化物配合歯みがき剤の年齢別適切な量

歯ブラシは子どもの年齢に合った大きさのものを使いましょう

| | | |
|-----------|---|--------------------|
| 歯のはえ始め～2歳 |  | ゴマ粒程度 |
| 3歳～5歳 |  | エンドウ豆程度 5mmくらい |
| 6歳～14歳 |  | 1cm程度 (歯ブラシの半分) |
| 15歳以上 |  | 2cm程度 |

歯みがき剤の適切な量（日本小児歯科学会 HP より）

（むらかみ歯科クリニック 村上祐介）

浜松市障がい者歯科保健医療システム

浜松市では、浜松市歯科医師会、浜松医療センター等と協力して、障がいのある人がなるべく身近な歯科医療機関で歯科診療が受けられるように、障がい者歯科協力歯科医院を中心に歯科診療を進めていく「浜松市障がい者歯科保健医療システム」をつくっています。

障がいのある人で、かかりつけ歯科医院をお持ちでない人は、まずは、障がい者歯科協力歯科医院に受診されることをお勧めします。

○浜松市歯科医師会ホームページ

<https://hamashi.com/>



アートに親しむ楽しみを身近に

浜松育成会の美術活動

2023年度までの取り組み
発達支援委員会



発達支援講座では、開始当初から陶芸教室を年間4回程度開催してきました。陶芸は、①何度でもやり直しがきく②指先を使ったり、感触を楽しんだりできる③出来上がったものが長く作品として残せる、などの特徴があり、一人でも、誰かと一緒に楽しめるアートです。気軽に参加できるように、育成会予算を使って参加費も低く抑えています。

アートってすごいなと思うときがあります。初めは子どもの作品づくりにあれこれ口出しして世話ばかり焼いていた保護者の方が、やっているうちに、子どもそっちのけで夢中になって自分の作品を作っているとき。そして、ほっとかされたほうが子どもの作品が良かったり、子どもの顔が満足げだったりするとき。アートの力すごいです。

何回も陶芸教室を開催して、作品もたくさんできてきたので、陶芸の安藤先生の提案で、昨年度より県障害者芸術祭に参加することにしました。やっぱりアートは見せる楽しみもなくちゃね。というわけで、今年はそれに加えて、福祉交流センター障害者アート展にもたくさん出品しました。今年から講座を開催したパステル画もパネルを飾っています。みらーとからの出品にも育成会の皆さんの作品が多く、会場は見ごたえがありました。5月には、「かーくん」の個展とワークショップ計画中です。

参加者の感想より

「子どもは今日は放デイ利用日なんですけど、親一人で来て陶芸に取り組んだら、すごくリフレッシュできました」「安藤先生に、子どもの方がいいのができましたねと言われ、本当に自分のは考えすぎだなと思いました。子どもってすごいですね」



協力団体みらーとの活動を紹介します 2023年度開催「華を結うワークショップ」



「静岡県障害者文化芸術活動支援センターみらーと」は、障害のある人の文化芸術活動の普及を通して、社会参加と障害や障害のある人に対する県民の理解促進を目的として実施され、静岡県からの委託を受け平成30年9月に開設されました。

アート制作など文化芸術活動に取り組む障害のある人や支援者、福祉事業所等からの相談を日々受け付けています。

相談を元に、新たな作家や作品の調査・発掘を行い、ギャラリーや病院、公共施設でのアート作品展示会開催や、ワークショップ、オープンアトリエの実施、支援人材を育成するためのセミナーを開催するなど、県内全域で幅広く活動しています。

また、恒例となっている舞台発表会「Look@Me!」では、ファッションショーや演劇に挑戦し、表現の場を追及してきました。

「アート」って良く分からないけど、何か一緒にやってみたい。絵を描く事が大好きな利用者さんの事を知って欲しい。そういったご相談から始まり、生み出される作品や作者の魅力を発信しています。

部会活動報告

幼児部会

今年度幼児部会ではサポートファイル説明会を1回、書き込み会を2回、親の会との合同イベントを1回開催しました。

サポートファイル書き込み会では、生活の記録や医療の記録、検査結果や家族構成等を書き込みました。変更があればその都度書き直し、サポートファイルを常に最新の状態にしておくことがとても大切なことだと思いました。

根学学園親の会主催の合同イベントでは、午前の部に株式会社コンテの桐生先生をお招きし講演会、グループワークを行い、午後は保護者同士の交流会を行いました。

講演会も交流会もどちらもとても盛り上がり和気あいあいとした雰囲気でした。

来年度も引き続きサポートファイル書き込み会等開催していくのでぜひご参加ください。

一年間ありがとうございました。(報告者 須山 詩織)



小学校部会



今年度も活動にご協力いただき、ありがとうございました。コロナが落ち着いたおかげで、皆さんと顔を合わせる機会が増えたことを嬉しく思いながら、役員も楽しく活動ができました。



先輩お母さんをお招きしての座談会、夏休みの親子社会科見学、春野町の自然の中での芋煮会など、様々なイベントで参加者の皆さんからうれしい感想をたくさん聞く事ができました。

来年度はまず、5月にランチ会を予定しています。

就労継続支援B型の「LaLa cafe」さんにて、福祉制度や運営事業所についてのお話を伺ったあとに、美味しいランチをいただきます！詳細は公式LINEでお知らせします！来年度もよろしく願っています。

(報告者 平野沙奈美)

中学校部会

中学校部会は、今年一年、本人会という、自分たちで考えて計画しよう！やっぴいこう！というテーマで会を運営してきました。秋祭りや、チョコレート作りなど、イベントを開催しましたが、一年目ということで至らない点もあったかと思えます。進め方なども、手探りの状態でしたが、そのなかでも回数を重ねるごとに、本人たちの楽しそうな表情や、少しずつ距離も近づいてきて、仲良くなっていく様子などをみたり感じたりすることができました。その姿を見て、継続するって、大変だけどやはり大事なな、と感じました。

ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました！



来年度も、今年度から更にステップアップしていけるように、活動は続けていきたいと考えています。

やってみたくいこと、計画したいことあれば、ぜひ一緒にやってみましょう！！

それに加えて、来年度からは、小学校から高校まで、幅広い年齢期の皆さんと一緒に活動できるようにしていきたいです。育成会が、皆さんで色々な情報交換ができる場になればいいなと思います。来年度、一人でも多くの皆さんとお会いできるのを楽しみにしています。

一年間ありがとうございました！(報告者 喜友名瑞穂)

特別支援学校部会



特支部会の活動では毎回好評のイベントが目白押し。

1月28日にトランポリンパークを貸し切って、子どもたちが大はしゃぎで飛びまわっている姿を見ることができ

ました。気兼ねすることなく、思いっきり遊ぶことができる場所があるのは本当にありがたいことです。

そういう時間をもっと増やせるように特支部会でもいろいろ企画していきたいと思ひます。

2月8日は、保護者のための味噌作り体験講座を開きました。美味しい味噌を作ることができる人気の講座で、特支部会でも二回目の開催でした。みなさん半年後の完成を楽しみに作業していました。

3月2日は、貸切りで天浜線の旅。いつもは秋から冬に企画していましたが、季節を変えて、ゆつたりのんびりとした列車の旅を楽しんでもらいたいと思ひます。

今年度、特支部会は本当にたくさんイベントを開催することができ、たくさんの方が参加してくださいました。楽しく有意義な時間を共有でき、とても嬉しく思ひます。

個人的な反省としましては、企画運営に精一杯で、交流が満足にできなかった気がします。会員さん一人ひとり、もっともっと会話して、繋がっていただけたらと思ひます。

一年間、ありがとうございました。

(報告者 佐々木正子)

成人部会

成人部会では初めて「みかん狩り」の行事を行いました。52名という大勢の方に参加していただきました。当日は天気にも恵まれ、気持ちの良いみかん狩り日和でした。

みかんの木は、駐車場や入口から近く、なだらかで足場も悪くなかったので、安心してみかんを取ることができ、美味しいミカンをみんなで堪能しました。

今年度の活動は「親子で歌おう！ハッピークワイア」(7回)「陶芸教室」「みかん狩り」4年ぶりに人気のある行事として「ボウリング大会」新年会と豆まきを兼ねて「新年の集い」を行いました。今年度は初めて計画した行事も多く、打ち合わせのため役員会の回数も例年以上となりましたが、各行事の参加者の方々と楽しい時間を過ごすことができました。一年間ありがとうございました。

(報告者 小粥久仁子)



委員会活動報告

啓発委員会

トファー大学に加え、同じ浜松市内の静岡文科芸術大学の授業にも呼んでいただき公演をすることが出来ました。また長年参加している路上演劇祭は他県からの見学者や全国啓発推進委員のリーダーが来てくださり、実際に見ていただく貴重な機会となりました。

今年度特に印象に残っているのは、静岡県内の啓発隊（清水、静岡、浜松）が集まって結成された静岡段ボール劇団です。こちらは司法への公平なアクセスと合理的配慮を静岡TSネット（静岡トラブルシューターネットワーク）と一緒に寸劇をしました。

来年度は5月に袋井市社協、8月に南エリア連絡会、日程は未定ですが旧東区民児協障害者部会からもお声がけいただいております。

来年度も障害のある人が住みやすい社会になるように啓発していきたいと思います。

写真は昨年6月静岡段ボール劇団の寸劇の様子です。



（報告者 高橋久美子）

児童委員会

2月6日(火) 市教育委員会 教育長訪問を行いました。教育長からは、保護者に対しての情報発信の取り組みを中心に浜松市の発達支援教育の現状など話をいただきました。

それに加え、昨今問題でもある「不登校児童生徒」の現状と支援の取り組みについても知る事ができました。

今回も児童委員のメンバーだけでなく、中学校部会の役員の方にも同席してもらい、現役保護者ならではの意見を教育長始め、教育委員会の先生方に届ける事ができました。「生の声」を届ける活動が何よりも大切だと思いました。

児童委員会では、今後も気軽に参加できる座談会を開催できるよう努めたいと思います。また、障がい者支援センターなどの福祉施設とのつながりも継続していきたいです。

児童委員会の活動にご協力いただき、ありがとうございます。（報告者 今村 宏美）

地域生活支援委員会

今年度前半は、昨年に引き続き『障がいのある方の住まいと暮らしを考える』というテーマで実際に親元を離れて暮らしている方の体験談や民間でグループホームを運営されている事業所のお話を聞く勉強会を開催しました。

通年では、浜松市障害保健福祉施策連絡会（浜松市障がい者自立支援協議会当事者部会）へ出席し、『第4次浜松市障がい者計画』（R6～R11年度）と『第7期障がい福祉実施計画 第3期障がい児福祉実施計画』（R6～R8年度）について他の障害者団体の方々と一緒に意見を届けました。11月から行われたパブリックコメントには多くの方にご意見をいただき、ありがとうございました。

結果は2月19日より市のHPや協働センターで確認することができます。また、中・東・北・西南エリア連絡会へ出席し、身近な居住エリアの課題にも皆さんの声を届けています。4月からは西南エリアが2つに分かれ、南行政センター（＝旧南区役所）内に南障がい者相談支援センターが開設される予定です。

地域生活支援委員会は、引き続き当事者の声を各所に届ける活動をしています。身近な生活に関わる問題に取り組んでいる委員会です。興味のある方はぜひ一緒に活動しましょう。（報告者 伊藤 幸枝）

イベント委員会



優勝しました！ 昨年11月23日(祝)、エコパアリーナにて、第24回静岡県障がい者スポーツ大会（わかふじ大会）バスケットボール競技大会が開催され、浜松育成会のバスケットボールチーム『Wings』が「男女混成の部」でなんと！優勝を果たしました。

チーム結成以来約15年、中々勝利できず、目標はずっと『目指せ1勝！』でした。

そして迎えた今回はチームメンバー10名全員で勝利を勝ち取りました。これまでも試合で勝てなくてもみんなでバスケットをするのが楽しくてやってきましたが、勝利したことで自信が持て、一層楽しんで練習に励んでいる今日この頃です。メンバー募集も継続中です。是非一緒にバスケットしませんか？まずは、体験をお待ちしています。

今年度はコロナが5類感染症となり久しぶりに『すまいる』（浜松市障がい者スポーツ大会）が開催されたり、育成会理事、役員の新年会も開催することが出来ました。

また、今年度より、認定NPO法人魅惑的倶楽部のマジックハートコンサートが浜松育成会と共催することになり、沢山の方に楽しんでいただいています。3月24日(日)は「卒業、進級おめでとうコンサート」（サーラ音楽ホールにて）があり、その中で育成会の「卒業と進級を祝う会」も開催されます。沢山のご参加をお待ちしています。

（報告者 鈴木さゆり）

発達支援委員会



1月14日には、久しぶりの応用行動分析心理学「なぜ褒められないのか」の講座が開かれました。当日までにインフルエンザや体調不良などで欠席連絡が多く、

どうなることかと思いましたが、参加者5人と講師の前堀で、テーブルを囲んで打ち解けて話をすることができました。質問もたくさんしていただき、事例も多く検討できてあまりに話が弾んだので、これからは定員8人とか初めから少人数の講座をやりたいねと盛り上がりました。午後の個別相談会では、3組の方に参加していただき、それぞれじっくりと話すことができ、少し元気になって帰ってもらえたかなと思います。個別相談会は、またやりたいと思います。（報告者 前堀 告予）

会員のみなさまへ

会費納入のお願い

振込手数料は、本人負担となります。ご理解をお願いします。

● 正会員の方へ

既にご案内を差し上げておりますが、来年度の会費納入をお願いしています。引き続き会員として活動に対するご協力をお願いします。また、登録内容に変更があった方は、訂正連絡票のご提出もお忘れなく。

年会費 2,500円 納入期限：令和6年3月31日

● 賛助会員の方へ

日頃より、育成会活動にご理解とご協力をいただき感謝いたします。

令和6年度も引き続き賛助会員としてご支援いただきたく存じます。

また、一人でも多くの方にご入会いただけるよう、お知り合いの方にもお声掛けをよろしくお願いいたします。

年会費 1口 1,000円(何口でも結構です) 納入期限：令和6年3月31日

★★新規のご入会は、随時受付けております。事務局までご連絡ください★★

連絡先：事務局(和合) TEL 053-475-0448 (小出)



お知らせ掲示板

元気の出る情報・交流誌 「手をつなぐ」 をお届けします！

「手をつなぐ」は、知的に障がいのある当事者(本人・家族)に関しての教育・福祉・労働等々の諸施策を中心に、全国手をつなぐ育成会連合会が編集・発行している月刊誌です。当事者のことを念頭において、60年以上の歴史を刻んできました。文字どおり、全国の仲間が「手をつなぐ」ために役立つ情報誌です。購読者には、毎月お届けします。

※購読料の一部を地震・風水害等の被災会員への見舞金とするため災害支援基金へ積み立てています。

●お申し込みは、静岡県手をつなぐ育成会事務局へ

年間購読料 3,900円(前納制・県育成会に申し込む場合)

生活サポート協会総合補償制度への加入はお済みですか？

安心をお届けします

補償プランA 年額19,500円

補償プランB 年額25,200円

補償プランC 年額22,000円

入院給付金(付添介護、入院時室料差額、入院諸費用、入院一時金)、賠償責任保険金(限度額プランA 1億円、プランB・C 3億円)、死亡・後遺障害保険金、入院・通院・手術保険金(天災特約付)、葬祭費用保険金(弔慰金)

★お問い合わせ・お申し込みは…

知的障害児者・発達障害児者のための 病気やケガの総合補償制度

当制度は知的障害児者・発達障害児者の方が抱える様々な危険を総合的に補償するために開発された画期的な新制度です。

静岡県知的障害児者生活サポート協会事務局

TEL：054-260-6713 FAX：054-254-6396

広報委員会

kouhou@hamamatsu-ikuseikai.net

TEL/FAX 053-544-9010

編集委員募集中！

コロナとインフルエンザもなかなか落ち着きませんね。気候も春の気候になったり雪が舞ったり安定しませんね。そうこうしているうちに花粉の季節です…。どうぞ皆さんご自愛ください！体調万全で新年度を迎えましょう！

Hiro